

# 一般社団法人で再スタート

## 企業・創業支援「ジョブラボぐんま」

### 「オープンでフラットなつながりを」



一般社団法人としてスタートしたジョブラボぐんま

### 積極的に連携推進

企業・創業を支援する任意団体「ジョブラボぐんま」が1日、一般社団法人に登記し、新たなスタートを切った。5月31日に桐生ブ

リオパレス（桐生市堀町）で開催した創立総会では、理事長の宮坂あつきさん（38）とF M桐生IIが「オープンでフラットな人のつな

がりを中心に、働き方の一つとしての創業・起業を支援したい」と抱負を述べた。総会では宮坂さんのほか、副理事長に小保方貴之さん（F M桐生）、理事に角田真住さん（Almonia

／Alopecia Style Project代表）、積田有平さん（内閣官房シェアリングエコノミー伝道師）、星野智昭さん（コピーライター）、監事に桐生信用金庫理事長の津久井真澄さん、崇城大学教授の星合隆成さんの就任が決まった。

同団体の目的は、さまざまな職能や強みをもった個人や団体のつながりを支援し、地域コミュニティブランドの理論を活用することで、起業・創業につながるための土台をつくること。それに向け、イベントやセミナーの開催、F M桐生の番組「ジョブラボラジオ」を使ったメディア

を展開、各種相談事業といった事業計画も決まった。

ジョブラボぐんまは2017年、群馬イノベーションスクールを受講した有志が中心となり任意団体としてスタート。ワークショップ形式のシンポジウム

を開催するなどの活動を続けてきた。法人化したことで個人や任意団体のほか、企業、行政、大学などとの連携も積極的に推進する。27日と7月2日にはキッズバレイとの共催でセミナーを開催する予定だ。

新規求職者が前年同月比、前月比ともに増加した。対産業別新規求人数は運輸業・郵便業を除く全業種で増加した。

4月有効求人倍率  
8カ月連続1倍台

ハローワーク桐生

桐生公共職業安定所

（ハローワーク桐生、小林悟所長）がまとめた一般職業紹介状況によると、4月の管内有効求人倍率（原数値）は1・05倍で、8カ月連続で1倍台を維持した。対前年同月比では21カ月連続の上昇となった。

対前年同月比は0・2倍の増加。対前月比は0・08倍減少した。

県内有効求人倍率は1・80倍で前月の1・66倍から1・4倍増。小林所長は県全体との差について「桐生で下がったのは、管内の求職者が4月はやや多かったため。3月に退職した人が手続きに来るなどの季節的要因。雇用状況は比較的堅調に推移している」とした。